

## 2022 年度全検協第 11 回通常総会を開催

当協会は5月17日東京芝公園のメルパーク東京で2022年度第11回通常総会を開催しました。昨年同様、コロナウィルス感染拡大防止のため出席者数の上限を設けました。

司会は青年部会会長の山田拓也理事(九州高压(株)社長)が務め全議案は満場一致で承認されました。本年は役員改選期に当り、白砂清一会長(大静高压(株)社長)、小新達彦副会長(コーシン産業(株)社長)、笠原幸治常任理事(有笠原商事社長)が留任。新副会長に伊藤知佳子(株伊藤高压瓦斯容器製造所社長)、新常任理事に小山泰昭(エルピー産業(株)社長)が就任しました。



※ 写真左から白砂会長・小新副会長・伊藤新副会長・佐藤専務・小山新常任理事・笠原常任理事

白砂会長は挨拶で、全国の容器検査本数は昨年の490万本から今年は480万本、来年は450万本～460万本と電化普及の影響で落ち込むが24年から再び480万本に増加し暫くは安定を見込む。直近の規制緩和では、バルク貯槽検査の廃棄時に返納する合格証が紛失等で返納できない場合は再交付手続きが必要だったが書面提出で済むようになった。

自動車用LNG・CNG・FCVの容器検査は気密漏洩検査が主な為、道路運送車両法の車検検査項目に組み込まれたが、LPG容器については除外され従来の高圧ガス保安法が適用される。今後も講習会を通して容器再検査に係る法令の変更や状況を周知していきたいと伝えました。

今年度の事業計画は、技術委員会(LPガス/一般高压ガス)が①オンデマンド配信による容器再検査講習会の検討②LPガス容器保管・流出防止対策の自主基準を作成③経済産業省液化石油ガス保安法講習会や高压ガス保安法研修会への講師派遣④日本自動車工業会の要請による自動車用LNG容器くず化要領書の作成等に取り組みます。

青年部会事業計画は国内研修やオンラインセミナーを予定。「カーボンオフセット容器検査」を想定し部会役員が検査工程のCO<sub>2</sub>排出量産出シートを作成したことを報告しました。

### < 優良従業員表彰者 >

- |                |      |
|----------------|------|
| ・富士酸素工業(株)     | 前島孝成 |
| ・第一化成産業(株)     | 木村和俊 |
| ・コーシン産業(株)     | 寺脇百江 |
| ・不二高压(株)       | 井戸上壘 |
| 同              | 大石仁志 |
| ・九州高压(株)       | 岩下英樹 |
| 同              | 四田光暢 |
| ・(株)サイサンガステクノ  | 瀬山文孝 |
| ・川口総合ガスセンター(株) | 齋藤貢一 |



優良従業員表彰